



私が最初にJAZZと巡り合ったのは何時のことだったであろうか、薄い記憶をたどってみると、それは1960年代終わり頃ではなかったかと思われる。アルバイト先で知り合った学生(当時彼は早稲田のハイソサエティオーケストラに所属し、ドラムを叩いていたと記憶している)に連れていってもらったJAZZ喫茶。初体験のそれは異次元空間に迷い込んだ羊、不味いコーヒー、大型スピーカーから流れ出る大音量のJAZZ、煙草で煙った空間、客は皆だまりこくって(後で知った事であるが、珍しくこの喫茶店は会話禁止などの制約が無かった)。そこでこの学生に「この音楽は何?」と聞いたような気がする、それはジョン・コルトレーンのアセンションであった。私のJAZZ初体験がフリージャズであった事も幸い? この時はJAZZに傾倒する事は無かった。当時軽音楽同好会で遊んでいた私にとって、それは余りにそれはかけ離れた音楽のように感じたからではなかったかと思われる。(しかし心の奥底に引掛かりを残しながらも)。フリージャズについては、後述するが富樫雅彦さんにお会いしてから、すっかり認識が変わっていった。そんなこんなで...

1970年代に入り神奈川県に就職。東京へもちょくちょく遊びに行く機会が増え、JAZZ喫茶やライブハウスに通っていた。特に自由ヶ丘のファイブスポットでは日野皓正、鈴木勲などの演奏に触れ、当時の熱いJAZZシーンの片鱗を体感することが出来たのは幸であった。この頃から本格的にJAZZを聴くようになった。それは1970年代中頃のある日の事、NHK-FMでアート・ペッパー・グループのライブ演奏を偶然聴いた(昔はFMでよくJAZZを流していた)。ご存じのようにアートペッパーは麻薬の問題で療養所暮らし、しばらくJAZZシーンから遠ざかっていたが、日本のファンの強い要望によって復帰できたと言っていた。彼の場合、復帰前と復帰後の評価が大きく分かれ、「JAZZ批評」などの雑誌で大きく取り上げられていた。それは偶然やってきた。神奈川県厚木市で見つけたJAZZ喫茶が、その後の私のJAZZ人生に大きな影響を与える事となった。この喫茶店はどちらかと言うとフリー系のJAZZを流しており(もちろん4ビートのJAZZも流していた)、マスターが若かった言もあり、会話禁止とかの制約も無く、客同士が色々なJAZZの情報交換を行っていた。又、月に何度かジャムセッションも行っており、又、近隣にはプロのミュージシャンが居たりで非常に熱い空間であった。

※付記
読者の皆さんはもうお気づきだろう。文章は厚木のジャズ喫茶の場面でブツと途切れている。私達の大切な仲間であった中島紀夫さんの命の炎も、この瞬間に消え去ることになった。おびくになる直前まで、病床にはジャズが流れていたと聞く。迫り来るご自身の最後を意識しつつ、「一期一会」の面持ちで音楽と向かい合っておられた氏の姿が思い浮かぶ。ここに描かれているのは、まぎれもなく60年代後半の団塊世代の共通体験であり、時代の「熱」のようなものである。生活は決して豊かではなかったけれど、進む先には明るい未来があるに違いない...そんな夢が持った時代、中島氏が当時の想い出を胸に秘めながら旅立られたのであれば、せめてもの幸いというものである。病床の氏に原稿を依頼したことが良かったのか悪かったのか...この思いからまだ逃れられないでいるが、そのように信じて、敢えて今回掲載させていただくことにした。(筆:しろくま)

設立、2年目! 東播ジャズ倶楽部、会員募集!



あなたは、こんな症状ありませんか?

- ジャズに興味がある。
 ジャズ聴くのが好き。
 楽器の演奏します。
 音楽イベント作りをしてみたい!
 東播のジャズ情報が欲しい。
 趣味友達が欲しい。

4~6個あてはまる → まさか!!? 既に会員ですか? まだの方はさあ!
1~3個あてはまる → まあ、とりあえず情報会員から始めてみますか?
1つもあてはまらない → まずホームページを覗いてみましょう。
●毎月集まる月例会やライブの手作りしてみませんか? 詳細は、http://t-jazz.com/ もしくは、スタッフまでお気軽にお問い合わせください。

床屋へいった。もう数年通っている店だ。いつもジャズがかかっている。コイチ時間良い気分になる。シャンパー後のプロローグがすんで、お疲れ様でしたとなるわけだが、その日はふと思つた。そういや昔床屋さんで終わったら「ま、どうぞ」ってな感じで煙草をすすめてくれたっけ。それもスタンダードなグレードよりひとつ上のものを。しんせい、いこいの頃はハイライトを、ハイライトの頃はセブンスターを、マイルドセブンの頃はキャビン、ライクを、つてな具合に。今の煙草にはあまりグレードはないようだけど、当時はひとつのおもてなしのかたちだったのだから。持ち替えのサックスを買ってもらったのを条件に煙草をやめてもう三年になる。自分自身よくやめられたなと今でも思う。それだけ楽器が欲しかったのだから。おこがましいけどサックス愛...ってことで昔のジャズミュージシャンの写真見ると、煙草をくわえてたり、手に持っていたりする。ドラックが当たり前。前の頃だから煙草なんてどうってことなかったんだろ。ジャズと煙草、なんか合う。

こちら、事務局。RIKAちゃんのジャズでキッチン。

フィラデルフィアで生まれた、チーズステーキサンド。元祖はシンプルに塩コショウのみの味付ですが、NY風は香辛料とステーキソースを使ったスパイシーな味付。ジャズクラブ帰りのNYっ子に人気のお店もあるそう! 塩コショウじゃ味気ない、でも香辛料そろえるのも面倒だ! という方へ、簡単レシピのご紹介。



【お手軽! チーズステーキサンド】

パン...4つ/牛肉薄切り...150g / 玉ねぎ...中1個 / ビーマン...1個/ 塩胡椒...少々 / ウスターソース...大きじ2 / ケチャップ...大きじ2 / とろけるチーズ(チェダーチーズ) ...2枚(半分に切っておく)

〈作り方〉

- ①牛肉を食べやすいサイズに切っておき、ウスターソースとケチャップを混ぜたものに漬け込む(10分から15分)
②玉ねぎを薄切りにし、かるく塩コショウしてフライパンで炒める。ビーマンは縦に細切りにし、玉ねぎが半透明になったら投入。玉ねぎが茶色くソテーされたら、野菜はフライパンから一旦取り出す。
③1を中火で焦げないように気をつけながら炒める。野菜をもう一度フライパンに戻し、一緒に炒め合わせる。
④パンに具材とチーズを載せ、チーズが溶けるまでトーストしたら、できあがり。(筆:RIKA)

このような記事依頼を受けて、今現在現場で音楽の仕事をしている人の感覚を伝えるのが面白いのでは? と考え、知人のミュージシャンにメールしました。私の頭の中は、さぞかし甘い名曲が次々と舞い込んで来ると思いきや...



なんと一番多かったのが...マイ・ファニー・バレンタイン! (12票) この曲はsweetというより自嘲的な意味合いも含まれ甘い告白には程遠く、ただタイトルにバレンタインが付くだけで(曲中の主人公名)、知人のミュージシャンに尋ねると「この時期に一番リクエストが多いから...」との答えで...知人のピアニストは「他に思いつかないですね〜」ほんまかいな? あれだけのピアノ弾くのには? 職業となるとそんなモノなのではないか。愛は無いの? LOVEはどこに行ったのよ? 少しつつむきましたが某ピアニストが「そんなモノ、仕事で毎日、耳を酷使している私を愛していたらプライベートな時間は音ナシの世界で愛を感じたいわ」と完全にやられました。逆の解釈で仕事では神経を研ぎ澄ましパートナー達の音を聞き分けているのだと。ちなみに私が愛を告白するなら「星に願いを」を4ビートにしてPOPでお茶目な感じで深刻さを誤魔化しながら告白するかもですね。(筆:有富トシロー)

懸かりなイントロに困惑してしまっています。まず「意図的に」1拍目のバスドラが省略されていて、3拍目からイントロが始まります。つまりイチ、ニツの次にキーボードの音が入ってくるのですが、次の小節のアタマは3発目ではなく、4発目のバスドラという事になります。はい...何言っているか、さっぱりわかりませんね(笑)。つまりですね、普通はキーボードの「タラララタラタラ」がワンフレーズに聞こえて、実は「ララタラタラ」が正しいフレーズで、「瞬間、変拍子に勘違いしてしまっている」が、こういう拍数の1拍目の後ろからフレーズが襲ってくるトリッキーな技は、オーネットコールマンあたりが大好きで、共演者も、曲のアタマがどこなのか見失なってしまうのですが、「魔法」も3小節目の4拍目のスネアの「バーン」の音でとけます。まさにマジックですねえ!(筆:大友トシロー)

ジャズと歌謡曲とワタシ。



歌謡曲にも時にはハツとする魔法の瞬間があつて今回、紹介する85年発売の小泉今日子の「魔女」は作曲家の「筒美京平マジック」とも言えるべき、神秘的な瞬間があつて、3拍目からイントロが始まります。つまりイチ、ニツの次にキーボードの音が入ってくるのですが、次の小節のアタマは3発目ではなく、4発目のバスドラという事になります。はい...何言っているか、さっぱりわかりませんね(笑)。つまりですね、普通はキーボードの「タラララタラタラ」がワンフレーズに聞こえて、実は「ララタラタラ」が正しいフレーズで、「瞬間、変拍子に勘違いしてしまっている」が、こういう拍数の1拍目の後ろからフレーズが襲ってくるトリッキーな技は、オーネットコールマンあたりが大好きで、共演者も、曲のアタマがどこなのか見失なってしまうのですが、「魔法」も3小節目の4拍目のスネアの「バーン」の音でとけます。まさにマジックですねえ!(筆:大友トシロー)

Music notation diagram for a jazz piece. It shows a sequence of notes on a staff with circled notes indicating a 'magic' rhythm. Text explains the rhythm and the 'magic' part.

●広告、配布に関するお問い合わせは、東播ジャズ倶楽部事務局まで。
http://t-jazz.com/
E-Mail / info@t-jazz.com

受講料無料! 職業訓練生募集!
ニッケパークタウン前 加古川校にて。
(内容)「簿記会計・パソコン基礎科」
・エクセルワードの基礎から応用まで
・簿記3級、パソコン会計(弥生会計)
・ビジネスマナー、コミュニケーションなど
訓練期間:H23.3.8~5.30 9:30~16:15
対象者:雇用保険の給付を受けられない方
テキスト代:12,285円のみ必要です
(応募方法)まずはお電話で加古川校にお問い合わせの上、最寄りのハローワークでお申込み頂き「受講申込書」を加古川校まで郵送ください。
コース名:職業横断的スキル習得訓練コース
訓練番号:22-28-01-03-1080
締切:2月7日(月)必着! 定員15名
※「訓練・生活支援給付金」(月額10~12万円)
受給には一定の要件があります。
ハローワークでご相談ください。

株式会社アシストワン
本社 675-1202 加古川市八幡町野村693-3
キャリアアップスクールアシストワン【加古川校】
〒675-0066 加古川市加古川町寺家173-16
【駅前校】
〒675-0065 加古川市加古川町藤原町70-3
電話 079-438-1444 http://www.assist1.com/

ITのことなら何でもお気軽にご相談ください...
・Word, Excel等ビジネスソフト完全個別指導
・MOS, P検等の資格取得講座
・企業、個人事業者対象ITコンサルティング
・インターネットソリューション
ドメイン取得、レンタルサーバー、WEBページ制作
Lスクール加古川
http://kn.org E-mail: t@kn.org
加古川市加古川町西河原34
TEL&FAX 079-422-8739

紅茶と英国菓子の店 CHATSWORTH
CHATSWORTH
チャットワース
紅茶と英国菓子の店 CHATSWORTH
兵庫県加古川市加古川町藤原町 4-7
079-420-1707 1F 9:00~20:30 2F 11:00~18:00 火曜日定休日
http://www.webturuya.com/chatsworth/

「音楽」もデザインします。
<業務内容>
●DTPグラフィックデザイン制作
・広告企画・デザイン制作
・カタログ・パンフレット・DMなどの企画、デザイン制作
・各種デザイン制作(ポスター・フライヤー・名刺、etc)
●WEBサイト制作
・コンテンツ企画・デザイン
BABYLON 72
Design Office
〒676-0051
兵庫県高砂市高砂町横町 1036
TEL&FAX: 079-442-0579
E-mail: archives313@ybb.ne.jp

IROHA SHOKUHIN
いろは食品
IROHA SHOKUHIN
〒2676-0063
兵庫県高砂市高砂町次郎助町 1578
TEL.079-442-017

PUB & RESTAURANT
British Style
3HARBOR
高砂で、
ジャズ
聴くならココッ!
パブ&レストラン サン・はーばー
兵庫県高砂市高砂町細工町 1358 TEL.079-443-0007

播磨のライブ情報
「サン・はーばー」.....
兵庫県高砂市高砂町細工町 1358
TEL.079-443-0007
定例・月2回
大石カルテット
小谷カルテット
start 20:00~
共にmc/3,500円(ドリンク、フード付き)
「JB-5」.....
神戸市垂水区神田町 4-7 旭ビル 2F
TEL.078-708-4559
3月27日
vol. 山村いつか pf. 尾原やよい
b. 池松正信 d. 川上隆之
start 19:00~ start 20:30~
mc/1,500円(オーダー別)
「music & cafe キャロル」.....
加古川市別府町別府 837-1
TEL.079-435-5212
2月2日
vol. 黒岩静枝 pf. 山下泰司
start 19:30~ (2ステージ入れ替えなし)
mc/4,000円
「チャットワース」.....
兵庫県加古川市加古川町藤原町 4-7
TEL.079-420-1707
3月11日
茶木みやこライブ
open 18:00 start 19:00
前売り 3,000円(1ドリンク別途必要)
当日 3,500円(1ドリンク別途必要)

http://carol-yumi.com/
編集後記
あつという間に、編集期間が過ぎました。リズムやタイミングがジャズは大事ですが、まさしくそういう時期だったのかもしれない。さきなきっけが、とっても大きな波になったのではないかと思います。うれしいことです。第1号を生むに当たって協力いただいた方々に感謝します。ここまで読んでくださった読者の方々にも感謝します。(筆:RIKA)